中田図書新聞　2007年1月1日発行

中田図書新聞

新書が売れる理由から「やりたいこと」を仕事にすることのこわさを考える。

主な記事から
◆世界初の糖尿病小説
◆転がる岩前のローリング、ストーンズ
◆鍋ふたつ

去年今年 貫く棒の如きもの

高浜虚子が『去年今年貫く棒の如きもの』とよんだように、教養系新書の勢いは年があけてもとどまるところをしらない。

勢いの背景にあるものは何か？タイムリー、ネイミング、コン。パクト。その答えは当たり前すぎて評価に値しない。いま真の理由と業界内でいわれているのは『総合雑誌』の衰退である。かつて『世界』や『中央公論』といった大手から中堅クラスの『現代』の目まで時宜的な問題について、情報や意見を提供してくれる総合雑誌が複数あり、広範な読者を獲得していた。読者はそれらを参考に自己の立ち位置を決めることができた。

つまり現在の教養系の新書の隆盛は『総合雑誌』の衰退の裏返しであって、総合雑誌から離れた読者はテーマ別に新書を読むようになったということだ。

書き手の側に目をむけると、人文系や社会系に元気のいい学者がおおい。大学院での研究テーマを発展させて、ダイレクトに新書で世に問うというのがふえてきた。そういえば慶応大学の磯田道史非常勤講師は『武士の家計簿』のブレイクで茨城大学の助教授にステップアップしている。もっとも本人に実力があったからだけれど。

さて同様に期待できる社会学者を紹介しておきたい。『搾取される若者たち』の著者阿部真大である。バイク便ライダーの体験をもとに若者が直面する労働、雇用問題を社会学的手法で考察。ワーキングプアが不安定就業と結びつくときの危険性とそのトリックを鮮やかに解きほぐす。新書が総合雑誌にかわったことがミステリーにとってかわる日もそう遠くないかもしれない。（圭）

小泉内閣を振り返る

すっかり支持率が低下した安倍内閣であるが、誕生時こそ調子がよく、すぐに叩かれるようなものは約束とはいえない。

政治の舞台裏をこれだけ早いタイミングでとらえることはあまりないのではないか。是非ともこの機会に政治を身近に感じて関心をなくさないようにしたい。（勇）

キーワードは数学

けっこう高いのに売れているのが『語りかける中学数学』『語りかける高校数学』という数学本。どちらも読めばわかる、そして数学が好きになると評判です。そういえばここ数年でちょっと数学入ってるベストセラーがずいぶんふえました。『博士の愛した数式』がそうだし『国家の品格』も著者が数学者だったり。そのおかげか手軽な文庫にも読み応えのある数学本がふえてきています。

今回はその中でも特にお勧めの一冊を紹介。それは『オイラーの贈物』筑摩学芸文庫。

たった一六〇〇円で数学美の究極オイラーの公式にふれられるすごい本。しかも中学生からでも読める丁寧なつくり。

ぜひ店頭で一度手に取って見てください。（淳）

$$e^{i\pi} = -1$$
$$e^{i\theta} = \cos\theta + i\sin\theta$$

※読書新聞 参照

感じないこどもこころを扱えない大人

子供も大人も感情を上手く扱えなくなっている。

特に怒り、落ち込み、不安といったネガティブな気持ちに対応ができない。このことが学級崩壊や少年たちの衝動的な事件を生んだり、大人の社会でもさまざまな困ったコミュニケーションを引き起こしているように思える。

かつて家族のなかで自然に行われていた、気持ちを取り扱うための訓練。これからは教育の場で、家庭で、意識的にこころのトレーニングをしなくてはならない。

子どもたちの発するSOSにどう答えるか、大人の感情トラブルをどう解決するか、実践的なこころの扱い方読本である。（森）

シュガーな俺

帯の「世界初の糖尿病小説」にひかれてこの本を手に取りました。難病の主人公はよくあるパターンですが、糖尿病とは意外な設定です。闘病ものは結末に回復があっても、経過に重いものがあってつらく感じますが、この作品は主人公の症状に一喜一憂するさま、完治はないけれど一生のつきあいとして受け入れていく過程がコミカルに描かれており読みやすいものでした。著者の経験がベースにあり体験談としても読めるようです。

糖尿病はすぐ死になるわけではありませんが食事療法、適度な運動、規則正しい生活と自分を律しなければいけません。読後頭に浮かんだのは、病気にならないこと、いや規則正しい生活、歩くなど気持ちです。（和）

▼金沢本店フェア▲
・手帳
・ビジネスで使えるブルーバックス
・自家製ポストカード
・共立出版社数学書フェア
・確定申告

▼本店フェア▲
・日記、手帳、カレンダー
・村上春樹フェア
・ローマ人の物語完結フェア
・医学雑誌バックナンバーフェア
・建築雑誌バックナンバーフェア
・介護書フェア
・メタボリックシンドローム
・建築家の仕事
・理系学生のための論文塾

BOOKS NAKADA　KOHRINBO 109 BF1　TEL:076-220-5011
BOOKS NAKADA　KAKEO HONTEN　TEL:076-492-1192

中田図書新聞

2007年1月1日発行

バレンタインに高カカオチョコ

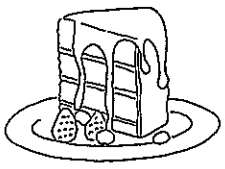
バレンタインの贈り物といえばチョコレートが思い浮かびますね。

現在料理書コーナーにてバレンタイン向けお菓子本フェアを展開中です。

相手が甘い物好きなら心配はありませんが、苦手な方もいらっしゃいます。そんな方にはカカオ含有量の多いチョコはどうでしょう。

以前は中々お目にかかれなかった高カカオチョコ、最近はコンビニでも手軽に買えるようになりました。料理書レシピのスイートチョコを高カカオチョコに代えるだけで、健康に良く、肥満予防効果も。内臓脂肪に手を焼いている方への贈り物にも如何ですか？

(丸)



オリジナルポストカードを作ろう！

「今年は自分のパソコンで年賀状を作ろう！」と張り切って作ってみたが、結局は本屋で買った素材集のまま、なんて人は多いだろう。もっと良いものが作れたのに、と後悔しても、付け焼刃の年賀状では仕方が無い。いっそのこと来年の年賀状に向けて今から練習をしてみては、どうだろうか？

まずは一枚ポストカードを作ってみることから始めてみよう。そこでオススメは翔泳社「Photo Artist」シリーズ3点。この本では、デジカメで撮った写真を加工してカードを作る方法が載っている。おまけに、写真の撮り方やおしゃれな写真が掲載されている HPまで紹介してあるからありがたい。

(大)

Windows Vista

いよいよ1月末にパソコンの新OS「Windows Vista」が発売になりますね。

せっかくなので私は買ってみようと思います。ただ、私のパソコンではスペックが足りないので件のAero機能は無理なのが残念です。Basic版で我慢です。Vista搭載モデルのパソコンはまだ少し先らしいですが、みなさんはどうされますか？

出版業界でも「Vista」の発売に合わせて各出版社から解説書が多数発行されます。

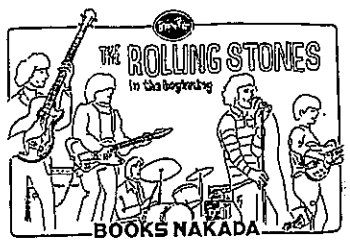
本店では大々的に「Windows Vista 在庫」の開催を予定しています。ぜひVistaを購入された方は感想お聞かせ下さいね。

(澤)

ストーンズの夜明け前

とてつもない写真集がでた。『ザ・ローリング・ストーンズ・イン・ザ・ビギニング』だ。

60年代半ば、ストーンズがスターダムに登りつめる瞬間を捉えたこの写真集、なにがすごいと言って、これだけメンバーの素の姿が見られるものってちょっとない。なにせ、初のヨーロッパツアーを成功させたばかりで、無名ではないにしろ、まだ世界最高のロックスターではなかったのだから(ただしミックだけはいちはやくその片鱗を窺わせている)。



三百枚に及ぶ初公開写真はストーンズ・ファン感涙必至。ムッシュかまやつ氏大推薦です。

(転石)

魔術師の弟子 ―マシュー・ラインハート

"紙の魔術師"ロバート・サブダ。その助手を経て現在は共同制作者として名を連ねるまでになった、マシュー・ラインハート。

クリスマスプレゼントとしても大人気だったしかけ絵本『恐竜時代』はこの二人の手によるもの。

ソロでは『ジャングルブック』『シンデレラ』などの作品を発表しており、知名度では劣るものの、その実力はサブダを凌ぐとも言われている。

日本語版はまだ出ていないが、サブダ同様、入手困難になる日も近いかも。

今なら富山本店洋書コーナーに在庫あります。ぜひお手にとってご覧下さい。

(疾)

ユニクロ VS しまむら なぜこの二社だけが絶好調なのか？

「ユニクロ」と「しまむら」、これを読んでいる人の中にも両社の服を持っている人は多いのではないだろうか？もちろん筆者も持っている。

本書はアパレル業界のみならず、日本流通業界の両社を徹底的に比較し、分析したものである。そこから導き出される両社の姿は商品政策、店舗オペレーション、人材開発に至るまで見事なまでに対照的である。

しかし両社とも既存の常識、システムをことごとく破壊し、独自の道を突き進んでいる点では一致する。まさしく「富士山をどちらから登るかだけの違い」なのである。両社の登る頂に今後の流通ビジネスの本質があるのか…。

とりあえず本書を読むことで、なぜ両者の店舗がこう日につくのか納得できます。

(内)

南極観測隊

1956年、日本発の南極観測船「宗谷」が出航して五〇年。『ニッポン南極観測隊』『感動大陸南極』と様々な南極物語が出版されていますが、特に興味深いのは『南極観測隊』。

測隊に、立山・芦峅寺の立山ガイドが参加していたというのです。

その名も『芦峅寺五人衆』。南極での基地宿舎の設営に、この五人衆が大活躍していたという事実を是非多くの富山県人に知ってもらいたいものです。

(宇)

本と鍋さえあれば…

寒い冬におススメ！心も身体も温まる3冊。

①『死日記』
②『兎の眼』
③『笑う食卓』

①は富山本店従業員の圧倒的(?)支持で一番のおススメ。悲しい結末だけど…。少年と、彼を取り巻く人々の優しさに涙がじんわり。

②は先頃逝去した灰谷健次郎氏の代表作。ただただ、「子どもってすごい！」と感動。

③は全部まとめて温めちゃえ！南極料理人・西村淳氏の第二弾。破天荒で工夫に富んだ料理はどれも美味しそうで、なぜか笑える(?)。極寒の地でなくともコタツで十分味わえる。

(弘)

楽で旨いとは―鍋侮りがたし

実用書を担当して早五年。炊事の必要がなくなるまで来ていた(要するに親への)パラサイトが、ようやく一人暮らしを始めた。

炊事洗濯と、人並みの苦労が身に沁みてきているがやはり問題は炊事。本節的に鍋…と目に付いたのが『ごちそうひとり鍋』。

一週間分の食材を買い置きし、使いきりながらも様々な味が楽しめるという一人暮らしを嬉しい作りである。

隅々まで読んでいたが、損のない買い物であった。

(林)

編集後記：あけましておめでとうございます。昨年から今年にかけて新しい書店が続々オープンして、書店地図はさまがわり。それぞれの店にはそれぞれの個性や癖があるので、ぜひ使いわけていただきたいと思います。

▶掲載の書籍は金沢本店、富山本店で在庫しています。また他の支店でも取り寄せできます。ご利用下さい。

BOOKS NAKADA KOHRINBO 109 BFI TEL：076-220-5011
BOOKS NAKADA KAKEO HONTEN TEL：076-492-1192